

## 令和8年度 第1回地域学校協働本部運営委員会 議事録

開催日時：令和8年4月24日(金) 10時～11時30分

開催場所：我孫子市教育委員会 大会議室

出席者：小谷委員、大坪委員、佐々木委員、小池委員、武者小路委員、小野委員、段林委員、鈴木委員、事務局4名

傍聴者：なし

### 1 指導課長挨拶

学校運営をしていくなかでコミュニティ・スクールの意義や役割は大変大きくなってきています。子どもたちや地域全体の未来への取り組みとして学校運営協議会の活性化が必要となっています。学校運営協議会で決まったことを実際に推し進めていくのが地域学校協働活動です。子どもたちにより豊かな体験をしてもらうために地域の方々の教育力を生かし、その経験を次の世代に繋げてほしいと考えています。

先日新任学校運営協議会委員の方に対し研修会を行ってまいりました。この運営委員会の意見をもとに活動を活性化させていきたいと思っております。

### 2 令和8年度CSならびに地域学校協働活動推進計画について

コミュニティ・スクールも4年目を終え学校運営協議会でも熟議が深まっています。今までの学校が一方的に依頼して地域が対応するといった形から学校と地域が協働するとともに行政、社会教育団体とゆるやかなネットワーク作りをしながら「育てたい子ども像」を実現していきます。

活動の様子はコミュニティスクール便り「スクラム」で紹介しています。不登校の生徒児童の居場所作りを地域で担うことができないか、地域でのボランティア活動を学校と連携させて不登校の子供たちの活躍の場がつかれないかについて熟議をした学校もありました。また、今まで行っていた七夕集会を地域の方と一緒に活動できないか学校運営協議会で熟議をし、学校と地域が協働、地域の方をお招きすることにより地域貢献につながる活動となった学校もありました。この学校ではシニアサロンの方々と交流するために子ども達自身で企画を考えています。また地域貢献活動で自分達の考えたことを地域社会で実現していくことはよりよい主権者教育に繋がることと考えています。

教育活動支援ボランティアについては、今まで活動していただいた方々が高齢のため活動が少なくなりました。また教員を目指す学生数が減っているため、ボランティアの人数が少なくなっています。そうしたことから今後はこれまでとは別の高校、大学にも学生ボランティア活動への協力を要請していきたいと思っております。

令和8年度の取り組みとしては、管理職以外の教職員へのCSの理解促進があり新任学校運営協議会委員研修会にそういった先生方に参加を要請して、学校運営協議会についての理解を深めてもらいました。

小中一貫教育を進めていくうえで中学校区での独自のカリキュラムが必要となります。令和8年度はこれを完成に近づけ、地域と共有することにより地域と学校が協議し育てたい子ども像の実現に向けて進んでいきたいと考えています。

地域学校協働活動については推進員さんがライングループでつながっていると聞きました。県の主催する研修会もいいのですが、お互いの活動を見学、参観して学びあうこともいいかと思います。また地域ルームなど地域の方と教職員が気軽にコミュニケーションを取れる場所があると活動がより一層広がっていくかと思っています。

### 3 協議

司 会 それではご感想も含めご意見をいただければと思います。

大坪委員 地域として子どもたちを育てる為になにかできないかと思い活動をしています。地域の方々が繋がりを持てるような居場所を作ろう、そういった思いから起業することにしました。

千葉県は梨の栽培で有名ですが果樹を育てるには枝の剪定をします。その廃材を使って画材を作りました。並木小の職業人講話のコーディネートをした際画材を使って子ども達に体験してもらいました。紙にペタペタとスタンプを押してアート作品に仕上げていくものです。図工や資源の再利用といった観点からは社会科として子ども達はいろいろな学びを体験することができました。普段絵がうまく書けないから書かない子がいたのですが、そんなことを感じさせないほど自由に取り組んでいました。

推進員の仲間でライングループを作っています。お互いに情報を共有し、困ったことがあればお互い助け合うようにしています。

小池委員 人口が減少していく中でボランティアの人数を増やしていくことを評価するのではなく、内容や質を重視すべきです。学校でボランティアする人が充実し楽しい思いをすることが大切だと思います。

生涯学習の観点から、ここにうたわれているコモンズこそが生涯学習であり大人も学べる場、また学んだことを地域に生かすことがコモンズと合致することになりますので応援していきたいと思っています。

武者小路委員 社会福祉協議会としては学校で福祉教育を体験してもらっています。

また(避難所運営ゲーム)HUGを紹介する冊子を作っています。教材もあるので防災教育にぜひ活用していただきたいと思っています。

小谷委員 コミュニティ・スクールがまだまだ地域に周知されていないです。4月15日に校内学校運営協議会でも提案させていただきましたが子どもたちや保護者に周

知してもらえようにしてほしいです。HPに写真を掲載してもらうだけではなく総会の時に学校運営協議会委員を紹介する場を設けるといいかと思います。

また、学校運営協議会で話し合ったことの報告がなかなかもらえないので、話し合いの結果どうなったか知りたいです。

先ほど大坪さんが言ったライングループですが、参考になっています。東小では地域の方の参加が少ないけれど民生委員さんの協力をもらっていることや、土壌づくりの協力を呼んでもらうことで他校のことを知るいい機会になります。

段林委員 市民協働推進課として、最終的に地域コミュニティの活性化につながるこの事業をありがたく思っています。保護者としては、皆様のように熱心な活動はできていませんでしたが、ここではアイデアを出していければと思います。

小野委員 PTA活動が年々縮小していつているようです。私自身学校へのボランティアは時間の調整がつかずなかなか参加できない状況です。ボランティアの内容を細分化していくと参加しやすいのではないのでしょうか

子ども支援課では地域ボランティアとしてあびっ子サポーターに参加してもらっています。やはり年々登録者の数が減少しています。5月16日号の広報に募集記事を掲載してもらっています。また、地域学校協働活動と放課後子供教室推進事業は同じ補助金を使っていることもありお互い連携が必要かと思います。

佐々木委員 学校では推進員さんにはとてもお世話になっています。地域学校協働本部や推進員さんを周知するために、一緒に給食をとる機会を作ったり、動画による推進員の活動紹介やボランティアの募集に取り組んでいます。学校によって必要なこと。できることに違いがありますがそれぞれの地域で特色があります。

学校にとって必要なこと、推進員さんがやりたいことを広げ保護者会などで周知、認知してもらうように努めていきたいです。

前任校では語り部さんを訪問し地域のことを知るカリキュラムがありました。個別に話を聞くことができるグループ学習は大変意義があります。ただ担当が地域の方々と直接のやり取りが難しいので間に入ってコーディネートしてもらえたことがとてもありがたかったです。

課長 貴重なご意見ありがとうございました。以上で協議については終了とさせていただきます。事務局に司会を戻します。

事務局 今回の協議していただいた内容については、確実に進めて第2回の本委員会で評価、助言をいただきたいと思えます。コミュニティ・スクールも5年目を迎え、学校運営協議会委員も3期目に入ったことから、さらなる学校運営協議会と地域学校協働活動の一体化の推進、並びに小中一貫教育との一体的推進を図り、本事業の充実に尽力してまいり所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。

資料の中にお知らせとして県で進めている推進員の研修講座の内容について載せてあります。今年度もオンラインで実施する講座が多いようですが、受講希望等がありましたら事務局にご相談ください。同じく市の研修会も全国で活躍している著名な先生方を講師として招聘していますので勉強してみたいという希望がありましたら事務局にご相談いただければと思います。

終わりに次第5の連絡についてです。次回の運営委員会の日程は来年令和9年2月19日(金)10:00からの予定となっております。よろしく申し上げます。

以上を持ちまして令和8年度第1回我孫子市地域学校協働本部事業運営委員会を終わります。